







## プロテクトWDG

版番号 1/J  
102000007589

4/11

改訂日: 2022/08/01

印刷日: 2022/08/01

### 6. 漏出時の措置

#### 6.1 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

**注意事項** 漏出した製品や汚染された表面との接触を避けること。付近の発火源となるものを取り除く。保護具を使用する。

**6.2 環境に対する注意事項** 地表水、排水口、地下水に入らないようにすること。

#### 6.3 封じ込め及び浄化の方法及び機材

**除去方法** 汚染された床や物を徹底的に清掃し、環境規制を遵守すること。廃棄に備え適切な容器に入れて蓋をしておく。

**6.4 参照すべき他の項目** 安全な取り扱いに関する情報は第7項を参照すること。  
個人用保護具に関する情報は第8項を参照すること。  
廃棄物処理に関する情報は第13項を参照すること。

### 7. 取扱い及び保管上の注意

#### 7.1 安全な取扱いのための予防措置

**安全取扱注意事項** 適切な排気装置が設置されたエリアでのみ使用する。

**技術的対策** 熱や発火源から遠ざける。粉じんは空気中で爆発性の混合物を生成することがある。静電気の蓄積を防止する手段を講じる。

**接触回避・衛生対策** 皮膚、眼、そして衣服との接触を避ける。作業服は別に保管する。作業の直後に手を洗い、必要に応じてシャワーを浴びること。汚れた衣服を直ちに脱がせ、洗濯し再使用すること。汚れた衣服が洗濯できない場合は、廃棄（焼却処理）をすること。休憩前や製品取扱い直後には手を洗う。

#### 7.2 配合禁忌等を踏まえた保管条件

**安全な保管条件** 乾燥した、涼しい、換気の良い場所で、容器の栓をしっかりと閉めて保管する。保管場所には、許可された者のみが入り出す。納品時の容器でのみ保管する。直射日光を避ける。

**一般的な保管について** 食物、飲み物、飼料から遠ざける。

**安全な容器包装材料** アルミニウムラミネートフィルム（厚さ最低 0.007 mm）

**7.3 特定の最終用途** ラベルおよび/またはリーフレットを参照すること。

### 8. ばく露防止及び保護措置

#### 8.1 管理濃度

成分	CAS RN	管理濃度	更新日	基準
----	--------	------	-----	----

プロテクトWDG

版番号 1/J  
102000007589

5/11

改訂日: 2022/08/01  
印刷日: 2022/08/01

プロピネブ	9016-72-2	0.2 mg/m <sup>3</sup> (SK-SEN)	OES BCS*
-------	-----------	-----------------------------------	----------

\*OES BCS: Bayer AG クロップサイエンス部門内 "Occupational Exposure Standard"

8.2 曝露防止

保護具

通常の使用および取り扱い条件では、ラベルおよび/またはリーフレットを参照してください。それ以外の場合は、以下の推奨事項が適用されます

呼吸用保護具

製品が封入されていない状態で取り扱われ、接触が発生する可能性がある場合：  
欧州規格EN149FFP3、EN140P3、又は同等規格に適合する粒子フィルターマスク付き（防護係数20）の呼吸用保護具を着用すること。  
呼吸用保護具は、封じ込め及び/又は局所排気装置など、発生源からのばく露の軽減対策を取ったうえで短時間の活動の残留リスクを管理するために使用すること。装着及びメンテナンスに関しては製造元の説明書に従うこと。

手の保護具

手袋の供給業者が提供する透過性および破過時間に関する指示に従う。また、切り傷、擦り傷、接触時間など、製品が使われる特定の環境条件も考慮する。  
汚染された手袋は洗うこと。内側が汚染した場合、穴が開いた場合、又は外側の汚染物質が除去できない場合は処分すること。飲食、喫煙、トイレの前には手をしっかり洗うこと。  
材質 ニトリルゴム  
透過度 > 480 min  
手袋の厚さ > 0.4 mm  
防護指数 クラス 6  
指令 EN374に準じた防護手袋。

眼、顔面の保護具

欧州規格EN166(Field of Use;5)又は同等規格に適合するゴーグル型保護眼鏡を着用すること。

皮膚及び身体の保護具

標準的なつなぎの作業服とカテゴリ3タイプ4の化学防護服を着用すること。  
重大なばく露のリスクがある場合は、より高機能の防護服を検討すること。  
可能であれば、2層の衣類を着用すること。ポリエステル/綿または綿のオーバーオールを化学防護服の下に着用し、よく洗濯すること。

9. 物理的及び化学的性質

9.1 物理的及び化学的性質の基本情報

物理状態	顆粒水和剤
色	淡褐色
臭い	弱い, 特異臭

## プロテクトWDG

版番号 1/J  
102000007589

6/11

改訂日: 2022/08/01

印刷日: 2022/08/01

---

臭いのしきい(閾)値	データなし
pH	5.0 - 6.5 (1 %) (23 ° C) (脱イオン水)
融点/凝固点	データなし
沸点又は初留点及び沸騰範囲	データなし
引火点	データなし
可燃性	データなし
自然発火点	データなし
最低点火エネルギー	データなし
自己促進分解温度 (SADT)	データなし
爆発下限界及び爆発上限界/ 可燃限界 (上限値)	データなし
爆発下限界及び爆発上限界/ 可燃限界 (下限値)	データなし
粉じん爆発クラス	粉じん爆発を引き起こす可能性がある (改良型ハルトマン式試験装置)
蒸気圧	データなし
蒸発速度	データなし
相対ガス密度	データなし
相対密度	データなし
密度	データなし
水に対する溶解度	分散
n-オクタノール/水分配係数 (log 値)	プロピネブ: log Pow: < 3
粘度	データなし
動粘性率	データなし
衝撃感度	衝撃感度なし
燃焼価	CN2 一瞬にして燃え上がるが、燃え広がらない。(20 ° C)
酸化特性	データなし
爆発性	データなし
9.2 その他の情報	その他の安全性に関するデータなし

---

## プロテクトWDG

版番号 1/J  
102000007589

7/11

改訂日: 2022/08/01  
印刷日: 2022/08/01

### 10. 安定性及び反応性

10.1 反応性	通常の状態では安定。
10.2 化学的安定性	推奨保管条件下では安定。
10.3 危険有害反応可能性	規定の指示に従い保管・取扱いした場合、危険有害性反応は起こらない。
10.4 避けるべき条件	極端な温度と直射日光。
10.5 混触危険物質	酸類, 他の容器に移し替えて保管しないこと。
10.6 危険有害な分解生成物	硫化水素 二硫化炭素

### 11. 有害性情報

#### 11.1 毒性情報

急性毒性 (経口)	LD50 (ラット) > 5,000 mg/kg
急性毒性 (吸入)	LC50 (ラット) 2.838 mg/l ばく露時間: 4 h 粉じんの発生が少ないため関連性がない。 試験は類似の製剤で実施。
急性毒性 (経皮)	LD50 (ラット) > 2,000 mg/kg
皮膚腐食性/刺激性	皮膚 刺激性なし (ウサギ)
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	眼刺激性なし (ウサギ)
呼吸器感作性又は皮膚感作性	呼吸器系: データなし 皮膚: 皮膚感作性なし (モルモット)

#### 特定標的臓器毒性 (単回ばく露)

プロピネブ: 入手可能なデータに基づくと分類基準は満たされない。

#### 特定標的臓器毒性 (反復ばく露)

プロピネブは、以下の器官における動物実験において、特定の標的器官の毒性を示した:末梢神経系, 甲状腺 プロピネブは原因筋力低下の動物試験で使用される。ヒトに関連する毒性は観察されていない。

#### 生殖細胞変異原性

プロピネブは、in vitro及びin vivo試験における遺伝毒性の重みから、変異原性及び遺伝毒性は認められなかった。

#### 発がん性

## プロテクトWDG

版番号 1/J  
102000007589

8/11

改訂日: 2022/08/01  
印刷日: 2022/08/01

プロピネブは、マウスの試験において次の器官での腫瘍の発生率が増加した: 肝臓 げっ歯類で腫瘍を誘発する機構および観察される腫瘍の種類は、ヒトには関係しない。

**生殖毒性**

プロピネブは、ラットを用いた2世代試験において、親世代に毒性を示す用量で生殖毒性への影響が認められた。プロピネブの生殖毒性は、親世代の毒性に関連している。

**発生毒性**

プロピネブは、ウサギに発達毒性を引き起こさなかった。プロピネブは、ダムにとって有毒な線量レベルでのみラットに発生毒性を引き起こした。プロピネブにみられる発達毒性は、母体の毒性に関連している。

**誤えん有害性**

入手可能なデータに基づくと分類基準は満たされない。

**詳細情報**

それ以上の毒性情報はない。

**12. 環境影響情報****12.1 生態毒性****魚毒性**

LC50 (Oncorhynchus mykiss (ニジマス)) 6.81 mg/l  
止水式試験; ばく露時間: 96 h  
試験は類似の製剤で実施。

LC50 (Cyprinus carpio (コイ)) > 100 mg/l  
ばく露時間: 96 h

**水生無脊椎動物に対する毒性**

EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)) 5.99 mg/l  
ばく露時間: 48 h

**水生無脊椎動物に対する慢性毒性**

NOEC (Daphnia (ミジンコ属)): 0.0175 mg/l  
ばく露時間: 21 d  
試験は類似の製剤で実施。

**水生植物に対する毒性**

EC50 (Raphidocelis subcapitata (淡水性緑藻)) 0.239 mg/l  
成長速度; ばく露時間: 72 h

NOEC (Raphidocelis subcapitata (淡水性緑藻)) 0.00954 mg/l  
成長速度; ばく露時間: 72 h  
記載の値は有効成分プロピネブに関連する。

ErC50 (藻類) 0.0187 mg/l  
成長速度; ばく露時間: 72 h

**12.2 残留性・分解性**



## プロテクトWDG

版番号 1/J  
102000007589

9/11

改訂日: 2022/08/01

印刷日: 2022/08/01

生分解性	プロピネブ: 急速分解性がある
Koc	プロピネブ: Koc: 18
<b>12.3 生体蓄積性</b>	
生体蓄積性	プロピネブ: 生物濃縮なし
<b>12.4 土壤中の移動性</b>	
土壤中の移動性	プロピネブ: 土壤中で移動する
<b>12.5 PBT および vPvB の評価結果</b>	
PBT および vPvB の評価	プロピネブ: 生物濃縮性で有毒な難分解性化学物質（PBT）とはみなされない。高生物濃縮性で高難分解性化学物質（vPvB）であるとは考えられていない。
<b>12.6 その他の有害影響</b>	
生態系に関する追加情報	言及すべき他の効果はない。

## 13. 廃棄上の注意

### 13.1 廃棄物処理方法

廃棄する場合は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」等産業廃棄物に関する法律、都道府県および市町村の関連条例に従って処理すること。

## 14. 輸送上の注意

### 国内規則

鉄道および道路輸送	非該当
指針番号	171
海上輸送	船舶安全法の規制に従う。
航空輸送	航空法の規制に従う。

包装、容器が破損しないように水濡れや乱暴な取扱いを避ける。

### IMDG

14.1 国連番号	3077
14.2 品名（国連輸送名）	ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, SOLID, N. O. S. (PROPINEB MIXTURE)
14.3 国連分類	9
14.4 容器等級	III
14.5 海洋汚染物質	該当

### IATA

14.1 国連番号	3077
-----------	------

## プロテクトWDG

版番号 1/J  
102000007589

10/11

改訂日: 2022/08/01  
印刷日: 2022/08/01

14.2 品名（国連輸送名）	ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, SOLID, N. O. S. (PROPINEB MIXTURE)
14.3 国連分類	9
14.4 容器等級	III
14.5 環境危険有害性マーク	該当

## 15. 適用法令

## 15.1 物質または混合物に固有の安全、健康および環境に関する規則/法律

## 詳細情報

WHO分類: III（わずかに有害）

## 農薬取締法

登録番号 : 22362 (Bayer CropScience K.K.)

## 消防法

非該当

## 労働安全衛生法

## 変異原性物質（既存）

## 毒物及び劇物取締法

非該当

## 化学物質排出把握管理促進法（PRTR）

## 第1種指定化学物質

化学名	番号	含有量 (%)
N,N'-プロピレンビス（ジチオカルバミン酸）と亜鉛の重合体	378	70.0
1,3,5,7-テトラアザトリシクロ [3.3.1.1,3,7] デカン	258	1.0

## 16. その他の情報

- 本資料の記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しており、記載内容は新しい知見により改訂されることがあります。
- 記載の注意事項は通常の取扱いを対象とした参考情報です。取扱いの際は用途・用法に適した安全対策を実施して下さい。
- 本資料は情報提供の目的のために作成されたものであり、その記載内容を保証するものではありません。

## プロテクトWDG

版番号 1/J  
102000007589

11/11

改訂日: 2022/08/01

印刷日: 2022/08/01

中毒の緊急問い合わせ先 : 公益財団法人 日本中毒情報センター (事故に伴い、急性中毒の恐れがある場合に限る)

中毒110番 一般市民向け相談電話 医療機関専用有料電話  
(情報提供料:無料) (情報提供料:一件2,000円)

大 阪 (365日、24時間対応) 072-727-2499 072-726-9923

つくば (365日、9時~21時対応) 029-852-9999 029-851-9999

医療機関の方が一般市民用電話を使用した場合も、情報料1件につき2,000円を徴収します。

**改訂理由:** 一般的な編集のため更新された。

最も最近の版以降の変更は、余白に特記してあります。この版は、これまでの全ての版に代わるものです。